

「三島大里学園の面踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	三島村立三島大里学園
2. 学年・人数	1年生から9年生 16名
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年6月～10月 本校集会室・大里地区健康広場・体育館 令和6年10月8日(火) 運動会予行演習(大里地区健康広場) (2) 発表の日時・場所 令和6年10月13日(日) 大里地区・三島大里学園大運動会(大里地区健康広場)
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名称 面踊り（めんおどり） (2) 由来 五穀豊穰と子孫繁栄、生産を祈る踊りで、手にはメシゲ（しゃもじ）と播り粉木を、腰にはひょうたんを持ち、生産を意味している。 (3) 構成等 ボロをまとい、ビロウの葉、シュロの皮、ガジュマル根等で身を飾り、腰にはひょうたんを下げ、顔には鬼、おかめ、ひょっとこ、かっぱ等の面をかぶり、右手にメシゲ、左手に播り粉木を持ったメンが二組に分かれ、奇抜なかけ声を出しながら踊る。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	・ 地域の方々に「ふるさと先生」として来校していただき、踊り方等の指導を依頼している。また、衣装合わせや踊り揃えなど、子ども会や地区の協力もいただいている。 ・ 前期・後期課程の練習時間を合わせ、「ふるさと先生」に指導をお願いしやすくした。 ・ 運動会で披露する「弓矢踊り」の練習を同時進行で行った。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	  運動会で披露 披露後、地唄手さんと撮影
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	【保護者】家でも練習した踊りを踊っている姿を見て、地域に伝わる面踊りを親しんでいる様子を感じました。何より、子供たちが踊っている姿を地域の方々が喜んでくださっていて、とてもうれしく思いました。 【教員】地域の方々が何度も学校に足を運び、ご指導くださる姿を拝見し、地域やそこで暮らす子どもたちを大切に思う気持ちを強く感じました。子どもたちもその時間を楽しみにしており、運動会以外の場面でも時折賑やかに踊る姿が見られました。 【児童】面踊りを踊るのは少し難しかったけど、みんなで練習したからうまくできました。たくさんの拍手をもらえてうれしかったです。地域の伝統を感じられて楽しかったです。